

# 点字のさらなる発展の為に＝ 齋藤百合『荒野の花』点字出版と講演会

社会福祉法人 桜雲会

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 4-11-14-102

## 助成事業の概要

2021年9月に『荒野の花』点字本を出版し、10月以降順次全国の盲学校と点字図書館に配布いたしました。また、マスコミなどを通して一般の希望者にも配布を行いました。

『荒野の花』は盲女性として日本で初めて大学に進学を果たした齋藤百合が6点点字の基礎を築いたフランスのバラタン・アユイの生涯を描いた作品です。原本は雑誌に掲載されたもので、保存状態も悪いため、今回は盲教育史に明るい岸博実氏の翻刻版として点字本にしました。

その岸氏に10月23日に『荒野の花』に関する講演会を行っていただきました。また同時に点字使用者、視覚障害当事者として全日本視覚障害者協議会の濱田登美氏にもお話しいただきました。コロナ禍のため出席者を30名以下に制限せざるを得なかったのは残念ですが、後日視聴できるよう配信も致しましたので、当日参加できなかった方々にも内容をお伝え出来ました。

## 事業の成果

本事業では、前述の『荒野の花』を点字図書として作成・配布しました。点字の発明や視覚障害者の高等教育の道を開いた先人に対する知識は視覚特別支援学校に学ぶ人たちでも知らないことが多く、それどころか教師ですら知らない現状で、このような本を点字で出版・配布することの意義は大きいと考えます。

また図書の完成時期に合わせた出版記念講演会で

は、図書の内容や著者である齋藤百合に関する話にとどまらず、特に質疑応答では、点字を使用する視覚障害者が減少し続けている現状に対する問題提起や齋藤百合が視覚障害を持つ女性として日本で初めて大学への入学を果たしたことから、視覚障害を持つ女性の視点からの発言など、非常に活発な意見交換が行われました。様々な立場の方が対面で点字や視覚障害者として社会で生きることについて議論を交わす機会は、コロナ禍の下で非常に貴重な時間になったと考えます。

## 成果の広報・公表

図書完成後、全国の点字図書館30館に対して無料配布を行いました。また希望する個人にも配布しております。

出版記念講演会開催のお知らせは、福祉系媒体や当会ホームページ等で掲載いたしました。講演会の様子は後日配信もしております。

## 今後の展開

今後は、上記図書の特色も含め、より広く広報活動を行い、希望する団体・個人に対し図書の頒布を行っていきます。それと同時に、図書完成後の講演会でも話題に挙げられた、点字を読み書きできる視覚障害者が年々減っていることなど、現状の課題にも点字出版所として、取り組んで参ります。